

【小学校版】

ふっさしがっこきゅうしょく
福生市学校給食センター
れいわ ねんどれいわ ねん がつこう
令和7年度(令和8年)1月号



しんねん むか きも あらた がっこう はじ ふゆやす ちゅう せいかつ みだ ひと
新年を迎え、気持ちも新たに3学期が始まりました。冬休み中に生活リズムが乱れてしまった人
はいませんか? 寒くて起きるのがつらい時期ですが、早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて元気に
とうこう 登校しましょう。



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

にほん がっこう きゅうしょく 日本学校給食のあゆみ



学校給食の始まり

めいじ ねん やまがたけん しりつちゅうあいしょうがっこう まづ こ しょくじ
明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事
ていきょう はじ がっこう だいとくじ てら なか ぼう
を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さ
いえいえ まわ きょう とな かね た もの つか しょくじ ようい
んたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意してい
たいしよう ねん こ えいようじょうたい かいぜん
ました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための
ほうほう がっこうきゅうしょく くに しょうれい かくち ひろ せんそう
方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争に
しょくりょう ふそく ちゅうし え
よる食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり
やさかな
焼き魚
つけもの
漬物
めいじ ねん
(明治22年ごろ)

ごしき
五色ごはん
えいよう
しる
栄養みそ汁
たいしよう ねん
(大正12年ごろ)



支援物資による学校給食の再開



ミルク



トマトソース
(昭和22年ごろ)

せんごこ えいようじょうたい あっか しんばい こえ たか しょわ ねん
戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年
12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月
に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」として
いましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食
週間」とすることになりました。

コッペパン・ミルク



クジラの竜田揚げ
せん切りキャベツ
(昭和25~30年ごろ)

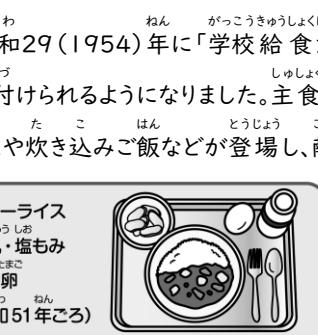
ゆた こん だて ない よう



バラエティー豊かな献立内容に



カレーライス



牛乳・塩のみ

ゆで卵

たまご はん とうじう こんだてないよう じゅうじつ
(昭和51年ごろ)

じゅしゅく ちゅうしん しゅうわ ねん べいはん はん せいしき どうにゅう

ミートスパゲッティ
牛乳

フレンチサラダ
(昭和40~50年ごろ)

こんげつ じば やさい しょようてい
今月の地場野菜(使用予定)

ふっさし
福生市

キャベツ だいこん
なが 長ねぎ はくさい

はむらし
羽村市

ほうれん草

あすはまち
瑞穂町

だいこん
こまつな



がっこうきゅうしょく ないよう じだい へんか じだい か
このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、
こ う た すこ せいちょう
「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった
ねが こ げんだい おとな じぶんじしん かんが けんこう しょくせいいかつ
願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を
つづ がっこうきゅうしょく きょうさい やくわり にな
続けることができるよう、学校給食は「教材」としての役割も担っています。

もぐもぐタイムズ

【中学校版】

福生市学校給食センター
令和7年度(令和8年)1月号



新年を迎え、気持ちも新たに3学期が始まりました。冬休み中に生活リズムが乱れてしまった人はいませんか？寒くて起きるのがつらい時期ですが、早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて元気に登校しましょう。

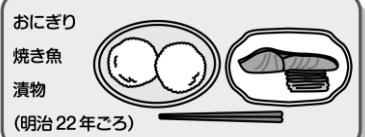


1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です

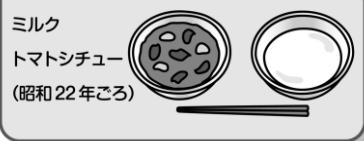
日本の学校給食のあゆみ

学校給食の始まり

明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。



支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

バラエティー豊かな献立内容に



昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンを中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが食えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるよう、学校給食は「教材」としての役割も担っています。

今月の地場野菜(使用予定)

福生市 キャベツ だいこん

長ねぎ はくさい

羽村市 ほうれん草

だいこん

瑞穂町 こまつな

